

<株式会社武蔵野>



～企業紹介～



中食業界のパイオニア企業。セブン-イレブン向けのお弁当・おにぎり・サンドイッチ・調理麺・デザートなどの製造および販売。今や定番となった「ツナマヨおむすび」なども業界に先駆けて武蔵野が開発した商品。社員 9450 名。本社は朝霞市。

～インタビュー～

今回インタビューに答えていただいたのは外国人社員（ネパール出身）。2017 年入社のがガティ プラディプさん。

ボガティさん

ー入社きっかけは？

GGG 主催の面接会（ソニックシティ）です。食品関係の会社で自分の専門を活かすために応募しました。

ー現在の仕事内容は？

8 ヶ月間の研修の後、埼玉工場の加工ラインに配属されました。現在は 12 ヶ国の外国人のアルバイト、パートタイムの方達の指導、サポートをしています。ネパール語、インド語、英語、日本語を使い通訳、翻訳業務も担当しています。



ー仕事のやりがいは？

日本人と外国人の架け橋としての役割はとてもやりがいがあります。教えることも楽しいと感じています。

ー将来の目標は？

家族が家禽関係（鶏肉など）の会社を営んでいることもあり、将来は母国で食品関係の会社を起業したいと考えています。

⇒後輩へのメッセージ

日本語の勉強を頑張ってほしいです。N1 を目標に、非漢字圏の留学生は N2 まで取ってください。やりたいこと、目標を持ち、GGG 就職マッチングシステムに登録してください。

～GGG インタビューアーから～

ネパール出身の留学生として、大学でも会社でもパイオニア的な存在だったとのこと。自分のやりたいこと、夢をしっかりと持ち努力している姿は後輩たちにとって見習うべき模範となるだろう。